

注意喚起: 新型コロナウイルスによる肺炎の発生

令和2年1月22日
在サイパン領事事務所

1 1月21日, 米国疾病予防管理センター(CDC)は, 中国武漢市から帰国したシアトル近郊に住む30代男性が新型コロナウイルスによる肺炎に感染したことが確認されたと発表しました(*)。米国内での感染確認は初めてで, 日本, 韓国, タイ, 台湾でも感染が確認されています。

2 新型肺炎の流行を受けて米国では, 先週からニューヨーク, ロサンゼルス, サンフランシスコの3空港で検疫を強化しています。今週中にも, シカゴ及びアトランタの2空港で同様の措置が執られる予定です。

3 また, 1月22日, 中国国家衛生健康委員会は新型肺炎について北京で記者会見を行い, これまでに計440人の発症が確認され, 計9人が死亡したことを明らかにするとともに, 「ウイルスは変異する可能性があり, 疫病の発生状況は更に拡大する危険がある」と指摘しました。新型肺炎の初期症状は発熱や咳(せき)が中心で, 現時点でワクチンはなく, ワクチンの開発には時間がかかるとされています。感染が更に拡大する可能性もあるので, 最新情報を入手し, 予防に努めてください。

中国における感染例数等についての最新情報：
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_009.html

4 中国当局は新型コロナウイルスを確認したとの初期段階の判定を示し, 世界保健機関(WHO)も同様に認定しています。感染の拡大を受けてWHOは, 国際保健規則に基づき新型コロナウイルスに関する緊急委員会を1月22日に開催する予定です。

5 現状では, 在留邦人の皆様が日常生活を送るにあたって, 感染リスクが特段高まっているとは必ずしも言えませんが, 下記に留意していただくことは, 感染症対策としても有効です。

- ・こまめに石鹸で手洗い, うがいをする(マスクは, 自身が健康であれば, 日常的には不要)。
- ・生きた動物を扱う市場に出入りしない。
- ・人混みにむやみに立ち入らない。
- ・武漢に渡航歴のある人と面会後に発熱するなど, 新型コロナウイルス感染症が疑われる際には, いきなり病院に向かわず, 予め電話等で受診を予告してから訪問する。

【参考: 国立国際医療研究センターの感染症専門医による解説】

<https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunasatoshi/>

* CDCによると、男性は中国武漢市を旅行後、1月15日にシアトルの空港に到着。その際症状はありませんでしたが、19日に異変を感じ、医師の診察を受けました。現在男性は地元病院に入院していますが、状態は良好で、医師や看護師など医療従事者のほか、他の人への感染の恐れはないとされます。